

国際交流事業

本学国際交流に関する基本方針により教職員・学生に係る海外派遣及び海外からの受け入れを積極的に行うこと、また、海外の大学等との国際交流協定締結を推進し、国際的通用性の高い教育・研究を組織的に推進することとしている。

●海外研修

海外研修は、本学の特色である国際的視野をもつ医療人の育成、医療のコラボレーション教育の一環との協働意識を醸成、情報交換、相互理解などを目的として、開学2年目（平成18年度）より実施している。

- ・平成30年度全学合同海外研修。

本年度は、2学部新設（千葉看護学部、和歌山看護学部）に伴い学生数が増加していることを踏まえ、学生の留学ニーズの多様性に応えるために、従来のハワイ研修に加え、オーストラリア研修を新設した。

2つの特徴の異なる海外研修を提供することにより、より多くの学生が自身のニーズにあった海外研修を選択できるようにした。

- ①研修先：グリフィス大学
（オーストラリア）

期 間：平成30年9月14日～23日

参加人数：学生 19名、引率者 2名
同行教員 4名

- ②研修先：ハワイ大学看護・歯科衛生学部看護学科、シャミナード大学看護学部（米国）

期 間：平成31年3月10日～18日

参加人数：学生 30名予定、引率者 7名予定

●国際交流センターの活動

- ・平成30年10月24日、オレゴン健康科学大学看護学部講師 和泉成子氏を招き、講演会を開催する。同氏の専門である、緩和ケアとエンドオブライフケアをテーマに「アメリカにおける緩和ケアの動向と今後の方向性」のタイトルでご講演いただくことにしている。対象は、主として本学の教職員と学生であるが、学外の看護師も参加を受付けることにしている。

- ・平成29年4月3日 タイのマヒドール大学関係者16名が本学を訪問。国際交流

センターと看護学科の共催で受け入れ。看護学科の佐々木教授を中心に産業看護師に関する研修をN T T 関東病院の協力も得て実施。

- ・平成 29 年 5 月 22 日ベトナムから看護関係者 11 名が本学を訪問。「新卒看護師のための臨床研修制度強化プロジェクト」（JICA 主催）を本学看護学科末永教授が中心となって実施し、研修修了後、国際交流センターと看護学科が共催で交流会を行った。